

## 「オーロラを待つ (2)」

時刻にはいろいろな概念があります。「疑似太陽時」「地方恒星時」「地方標準時」などです。その中に「地方地磁気時」という、聞きなれないものがあります。難しいことは省略しますが、この「地方地磁気時」が「0 時」の頃、オーロラは最も強く見えます。私が滞在するスウェーデン北部では、22 時～24 時に相当します。旅行者にとっては、観望しやすい時間帯です。



午後 10 時前、肉眼でもはっきり見えるカーテン状のオーロラが見え始めました。いろいろな国から来た人が、観望や撮影を楽しんでいました。



(上)「駅舎の上に輝く北斗七星」その下にオーロラも見えています。旅行の最終日に、北極圏の自然は、その最も美しい姿を見せてくれました。

(下)「ポルユス駅舎とグリル・コートとオーロラ」今回撮影のオーロラの中で、ベストショットでした。

